

## 令和2年度 指定管理業務の評価表

## 1 施設概要

|        |  |      |                      |
|--------|--|------|----------------------|
| 施設名    | 重度身体障害者デイサービスセンター  | 所在地  | 伊勢市黒瀬町562-3          |
| 指定管理者名 | 社会福祉法人 伊勢市社会福祉協議会  | 指定期間 | 平成28年4月1日から令和3年3月31日 |
| 設置目的   | 重度の肢体不自由がある人の日中活動の場や、特別支援学校卒業生の進路として、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、入浴、排せつ及び食事等の介護、調理、洗濯及び掃除等の家事、生活に関する相談及び助言その他の必要な日常生活上の支援並びに創作的活動及び生産活動の機会の提供その他の身体機能又は生活能力の向上のために必要な支援を行うため   |      |                      |
| 業務内容   | (伊勢市中心身障害児通園施設おおぞら児童園の事業を除く以下の業務)<br>・利用者数に関すること<br>・職員の雇用に関すること<br>・伊勢市重度身体障害者デイサービスセンターの事業に関すること(生活介護、日中一時支援事業)<br>・施設及び設備の維持管理業務に関すること(全館)(施設設備関係、施設清掃業務等)<br>・その他業務に関すること(危機管理業務、災害発生時における要介護者避難所の開設・運営等)                                |      |                      |
| 施設概要   | 平成13年3月完成(開館は平成13年4月)<br>敷地面積1678.93㎡(駐車場含む)、建築面積(延床面積)1195.52㎡<br>鉄骨鉄筋コンクリート造2階建て<br>1階(730.18㎡) 事務室、静養室、デイルーム、和室、食堂、厨房、特殊浴室、脱衣室、トイレ等   |      |                      |
| 職員体制   | 【生活介護】<br>管理者 1名(常勤兼務)<br>サービス管理責任者 1名(常勤専従)<br>生活支援員 18名(常勤専従11名(うち介護福祉士等6名)、常勤兼務1名、非常勤専従6名(うち介護福祉士等1名))<br>医師 1名(非常勤専従)<br>看護職員 2名(常勤専従1名、非常勤専従1名)<br>運転手 3名(非常勤専従)<br>調理員 3名(非常勤専従)<br>【日中一時支援】<br>管理者 1名(常勤兼務)<br>支援員 3名(常勤専従1名、非常勤専従2名) |      |                      |
| 施設所管課名 | 高齢・障がい福祉課  |      |                      |

## 2 収支状況

|      |              | (A)    | (B)         | (C)         | (単位:円)     |             |
|------|--------------|--------|-------------|-------------|------------|-------------|
|      |              | 平成30年度 | 令和元年度       | 令和2年度       | 比較(C-B)    |             |
| 事業収支 | 収入           | 指定管理料  | 20,020,000  | 20,197,000  | 24,127,000 | 3,930,000   |
|      |              | 利用料金   | 77,222,144  | 74,805,934  | 71,785,381 | △ 3,020,553 |
|      |              | その他    | 667,403     | 420,393     | 1,035,611  | 615,218     |
|      |              | 計(a)   | 97,909,547  | 95,423,327  | 96,947,992 | 1,524,665   |
|      | 支出           | 人件費    | 82,716,922  | 79,051,514  | 78,495,530 | △ 555,984   |
|      |              | 管理運営費  | 16,434,382  | 16,021,739  | 15,935,791 | △ 85,948    |
|      |              | その他    | 223,776     | 7,666,349   | 1,071,109  | △ 6,595,240 |
|      |              | 計(b)   | 99,375,080  | 102,739,602 | 95,502,430 | △ 7,237,172 |
|      | 収支差引額(a)-(b) |        | △ 1,465,533 | △ 7,316,275 | 1,445,562  | 8,761,837   |

|                                  |   |
|----------------------------------|---|
| 最新年度(C)と前年度(B)に収支の増減があったものについて記載 | 【収入の部の減】<br>※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、利用率が低下したことに伴う介護給付費収入減による「利用料金」の減。<br>【支出の部の減】<br>※事業区分間繰入金支出の減額による「その他支出」の減。 |
|----------------------------------|---|

## 3 評価(別表様式4に基づく総合評価)

| 指定管理者   | 市  |
|---|--|
| 事業計画書に従った管理を行い、ホームページを活用した広報の他、計画相談支援事業所等へ周知を行い利用者の増員を図った。また、本人や家族の希望を計画書に反映し、支援を行った。<br>運営委員会や満足度調査の結果を基に利用者のニーズに沿った事業を実施した。<br>延長預かりサービス及び臨時利用希望者を柔軟な対応で受入れを行った。<br>嘱託医による健康相談事業を個別に行い、利用者のサービス向上に努めた。<br>建物・設備の管理において、保守点検の実施及び修繕箇所の早期発見等、適切な管理に努めた。 | 施設の設置目的を理解し、管理運営については適正に行われていた。また、臨時利用希望を柔軟な対応で受け入れたことなど、利用者及び家族のニーズに則した事業を実施したことは評価できる。<br>令和3年度から当該施設は民間譲渡し、譲渡先事業者による自主運営となるが、重度障がい者を受け入れる施設として適切な管理運営を実施いただきたい。 |

(様式4)

指定管理業務の項目別評価表

| 評価項目      |                | 施設名 重度身体障害者デイサービスセンター |   |    |  |   |  |
|-----------|----------------|-----------------------|---|----|--|---|--|
|           |                | 指定管理者                 |   | 市  |  |   |  |
| 業務運営項目    | 評価の基準          | 判定                    | 評価理由  | 判定 | 評価理由   |   |  |
| 施設設置目的の達成 | ①施設の目的や基本方針の理解 | A                     | 施設の目的や基本方針を理解し管理を行った。   | A  | 施設の目的や基本方針を理解し管理運営に努めた。  |   |  |
|           | ②施設設置目的の達成度    | A                     | 緊急時の受入対応など地域住民のニーズに応えることが出来た。   | A  | 施設の利用状況、管理状況から、施設の設置目的は達成されている。                                |   |  |
|           | ③利用者数          | B                     | 利用者数の目標は1日平均18人であったが、実績は15.3人と目標を下回った。改善状況として、計画相談事業所等を通じ、利用者の増員を図っている。 | B  | 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、前年度減となった。                                   |   |  |
|           | ④運営状況          | A                     | 事業計画書の内容に概ね沿った運営をし、警報など危険時には閉館する判断もしながら供用日数・時間を達成した。                    | A  | 事業計画書に計画された運営が行われ、適正な施設運営が実施された。                               |   |  |
|           | ⑤職員の配置状況・勤務実績  | A                     | 職員の配置状況・勤務実績は適正であったか。また、業務執行体制（作業責任者・業務担当者）は明確になっていたか。                  | A  | 三重県の示す人員配置基準、伊勢市の定める配置数を遵守した。                                  | A | 職員の配置状況、勤務実績は適正であった。                     |
|           | ⑥意思疎通          | A                     | 管理運営業務全般について、市と指定管理者の責任者間で十分な連絡調整がなされていたか。                              | A  | 管理運営上伊勢市との連絡調整は十分出来た。  | A | 毎月の実績報告は適切に行われていた。                       |
|           | ⑦各種管理記録等の整備・保管 | A                     | 各種業務計画書、点検記録、整備・修繕・事故・故障等の履歴等の各種管理記録等が整備・保管されていたか。                      | A  | 各種必要書類については自主点検を行うなどして適正に行うことが出来た。                             | A | 各種の記録については、適正に整備保管されており、月報・年報にて報告がされていた。 |
|           | ⑧地域の振興         | C                     | 地域や地域住民との交流・連携に関する取り組みを実施し、地域の振興が図れていたか。                                | C  | 新型コロナウイルス感染拡大の影響から、地域住民との交流やボランティアの受入れ等が出来ず、地域振興を図る取組みが出来なかった。 | C | 新型コロナウイルス感染症の影響により取組みができなかった。            |
|           | ⑨使用許可等         |                       | 使用許可等申請が適正に行なわれていたか。  |    | 貸館等実施していないため、評価なし。   |   | —  |
|           | ⑩利用料金等の徴収状況    | A                     | 徴収、減免、還付等は帳簿等が作成され、適正に行なわれていたか。   | A  | 各種の帳簿は支所、本所管理の下、漏れなく行った。                                       | A | 適正に行われていた。                               |
|           | ⑪個人情報          | A                     | 個人情報の取扱いがきちんとなされていたか。   | A  | 書類の管理等、情報漏えいが生じないよう安全管理を徹底し、ミーティングにおいても職員へ随時意識強化を図った。          | A | 個人情報漏洩などの問題も発生しておらず、個人情報は適切に取扱いされていた。    |
|           | ⑫法令遵守          | A                     | 関係法令を遵守していたか。   | A  | 障がい者虐待防止法及び障がい者差別解消法など各種法令を遵守した。                               | A | 法令違反は見受けられない。                            |

## 指定管理業務の項目別評価表

施設名

重度身体障害者デイサービスセンター

| 評価項目        |                       | 評価    |  |    |   |
|-------------|-----------------------|-------|--|----|---|
|             |                       | 指定管理者 |  | 市  |   |
| 業務運営項目      | 評価の基準                 | 判定    | 評価理由   | 判定 | 評価理由  |
| サービスの質の向上   | ①施設利用状況及び利用者数増加への取り組み | A     | ホームページのブログに活動の様子を掲載する他、臨時利用希望への対応を柔軟に行い利用者数増加に努めた。                         | A  | 臨時利用希望者への対応が柔軟に行われていた。                                    |
|             | ②利用者の平等な利用            | A     | 日々のミーティング及び月例ミーティングを行い職員の資質向上、サービスの向上に努めた。                                 | A  | 期待されるサービス水準を達成していた。                                       |
|             | ③適切な情報提供              | A     | ホームページのブログ、情報誌の作成などで情報提供を行った。  | A  | 適正な利用情報の提供が実施されていた。                                       |
|             | ④非常時・緊急時の対応           | A     | 年間を通して避難訓練を2回実施し、職員及び利用者本人の災害に対する意識の向上に努めた。また、事故発生時においても迅速且つ適切に対応することが出来た。 | A  | 緊急時マニュアルの整備、避難訓練の実施など、適切に実施されていた。                         |
|             | ⑤苦情解決体制及び対応           | A     | 利用者からの意見・苦情等を受けて迅速かつ適切に処理できる体制が整っていたか。また、事故、苦情に対する対応は適切であったか。              | A  | 利用者からの意見、苦情等を受け、迅速かつ適切に対応できる体制が整っていた。                     |
|             | ⑥自主事業                 | A     | 利用者ニーズに即した自主事業が行なわれていたか。   | A  | 利用者ニーズに応えるべく臨時利用希望の受入れ、緊急時延長預かりサービスを継続して実施することが出来た。       |
|             | ⑦事業の評価                | A     | 事業実施後に確認・見直しが行なわれ、次年度へつなげる取り組みがなされていたか。                                    | A  | 業務報告書を作成、それを元に反省、提案、見直しを行うとともに、今回の評価も加味し、次年度の取り組みへつなげている。 |
| 施設・設備等の維持管理 | ①建物・設備の保守点検           | A     | 設備等の安全点検、機能確認を行い毎月の月報に記録をまとめている。また、施設外観においても定期的に巡視し美観の保持に努めた。              | A  | 毎月安全点検等を適切に行い、月報にて報告されていた。                                |
|             | ②備品等の管理               | A     | 備品について丁寧な扱いを心がけ、破損、紛失等がなかった。   | A  | 破損や紛失がなく、適正管理が認められる。                                      |
|             | ③修繕業務                 | A     | 点検によって異常が認められた場合は、速やかに修繕・交換・整備・調整等の適切な処置を講じ、その内容を記録されていたか。                 | A  | 異常があった場合は、機器にあった対応を行い、記録に残すとともに、月報にて報告を行った。               |
|             | ④清掃業務                 | A     | 清掃は適切に行なわれていたか。  | A  | 業者委託による定期清掃及び職員による清掃を実施し、施設設備等の維持管理に努めた。                  |
|             | ⑤防犯体制                 | A     | 鍵の管理及び防犯に対する対策、対応は適切だったか。  | A  | 鍵は定められた箇所、人物で管理し、退庁時にセキュリティのセットを行い防犯対策を行った。               |